

岡山県支部会報

発行／（社）中小企業診断協会
岡山県支部
2009年12月 第25号



他支部・他士業との協働



＜はじめに＞

去る11月5日に、東京都千代田区のホテルグランドパレスで行われた中小企業診断シンポジウムと、翌日の支部長会および診断協会創立55周年記念大会に参加させていただきました。

本稿では、そのご報告を兼ねて、他支部・他士業との交流について提案させていただきましたと思います。

＜東京は研究会が一杯＞

今まで、東京でのシンポジウムなど出たことが無かったのですが、今回は、翌日支部長会があるということもあって、初めて参加させていただきました。

シンポジウムでは、11月の診断士フォーラムに来ていただいた油井文江さんも発表され、会長賞を受賞されました。他にも、たくさんの会員が分科会で発表され、その多くが自分の所属する研究会の活動実績をもとにした内容でした。

毎月本部から送られてくる『診断ニュース』の、12月号80-81ページを見ていただくと、東京の研究会の充実振りが良くわかります。

＜他支部との交流＞

フォーラムの後の懇親会で発表者と名刺交換すると、「機会があったら私も岡山県へ行きたい」、「私は〇〇県の診断士だが、東京の研究会に入っている」などと、県域を越えた視野で活動しておられる診断士がたくさんいらっしゃいました。

そのような積極的な方々のお話を聞いて、

支部長 額田 信一

今までの自分の視野の狭さ、意識の低さを恥じた次第です。我々も、東京とまでは行かなくても、近隣の他支部と共同の勉強会や交流会をもっと盛んにすれば、必ず専門分野のノウハウの習得や、新しい仕事の開拓につながると感じました。

＜他士業との交流＞

また最近では、診断士の仕事の中で、他のサムライ業の方々との共同作業が必要な場面も増えてきました。

再生支援はもちろんのこと、企業全体を大改革するような仕事をする場合には、診断士だけで事に当たるよりも、税理士、公認会計士、弁護士、弁理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、不動産鑑定士、土地家屋調査士などと協力したほうが、より大きな顧客満足を提供できるでしょう。

我々診断士も、他のサムライ業の方々との交流の機会を持ち、勉強することが、顧客に提供するサービスのレベル向上につながると思っています。

＜支部事業へのご協力をお願い＞

以上、述べてきましたように、今後は岡山県支部として、他支部・他士業との交流を進めて行きたいと考えています。

しかし、このような事業は、理事の皆様をはじめ会員の皆様のご協力をいただかないと、実施できるはずがありません。

ぜひ、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

理論政策更新研修開催

日時：平成21年9月12日（土）13:00～17:00

場所：岡山コンベンションセンター ママカリフォーラムレセプションホール

〒700-0024 岡山市北区駅元町14番1号 Tel. 086-214-1000

受講人数：140人

研修内容

1. 中小企業施策

講師：中国経済産業局 中小企業課 課長 江口 知之 氏

2. 中小企業の事業承継

講師：診断士 神崎 充 氏

3. 事例【中小企業の事業承継】

講師：診断士 神崎 充 氏

香川県支部との合同研修会実施

常任理事 児玉健治

開催日時：平成20年10月27日（火） 12:00～20:00

毎年恒例の香川県支部との合同研修会ですが、今年は岡山県支部が幹事をつとめ、10月27日に実施いたしました。

今年は、岡山に本社を置くベネッセコーポレーション様のご協力をいただき、毎年過去最高の来訪客を迎え、ますます注目度が高まっている「ベネッセアートサイト直島」を舞台に開催いたしました。香川県支部からは11名、岡山県支部からは15名のご参加をいただき、たいへん盛況でした。

研修会場の直島は岡山県からの方が近いのですが、香川県にあります。岡山県支部なのに香川県を会場にするのはいかかなものか・・・との声もありました。しかし、地域観光開発の一つのお手本とも言える直島は、毎年入込客数が増加しており、若者も島外にとどまるどころか、島外、それもまったく縁のない地域から若者たちが直島にやってきました。すさまじい盛り上がりを見せています。これはぜひ現地へ赴き、体感しなくては！ということで、香川県支部の皆様からの賛同をいただき、無事に実行することができました。

直島のベネッセハウスにて、(株)ベネッセコーポレーション 人財・総務副本部長の八木智様よりご講演をいただき、直島開発のプロセスや思いを理解することができました。その後、ベネッセアートサイト直島の地中美術館、家プロジェクト、直島銭湯「I♡湯（アイラブユー）」などの見学を行い、まさに直島の魅力を体感することができました。

香川県支部の皆様との懇親も深めることができ、瀬戸内海をへだててはいても両支部は太い絆で結びついていると確信しました。

今後も相互に協力しながら、事業、研究を共同で進めていこうと締めくくり、極めて収穫の多い合同研修会を終えることができました。



会員投稿記事

<地域資源活用事業・農商工等連携事業のエッセンス>

会員 太田 文男

『企業診断ニュース』2009年11月号の48ページに、「地域資源活用事業・農商工等連携事業のエッセンス」という論文を投稿させていただきました。

私は現在、独立行政法人中小企業基盤整備機構四国支部にて、地域資源活用事業や農商工等連携事業の法律認定取得を目指す中小企業や農林漁業者を支援させていただいております。具体的には、法律認定取得のための事業計画作成のお手伝い、そして、法律認定取得後の事業化のお手伝いを行っています。

法律認定は、事業計画が「法律のフレームワーク」に合致していることが前提となりますので、どんなにすばらしい事業計画であっても、フレームワークに合わなければ認定は受けられません。今回の投稿では、そうした法律のフレームワークの説明と、私が事業計画作成をお手伝いする際に培ったノウハウを紹介させていただきました。

法律認定を取得することで、販路開拓支援やPR効果、各種優遇措置など、様々なメリットを享受することができます。また、法律認定に関わらず、地域活性化に向けて、地域資源の活用や農商工連携は欠かせないことだと考えております。

今回の投稿が、こうした地域活性化への一助になれば幸いです。『企業診断ニュース』2009年11月号をぜひご覧ください。

<安田工業(株)見学記～すり合わせ技術とユニット化について>

会員 藤原 敬明

11月4日に安田工業(株)の工場見学に誘ってもらい、見学してきました。聞くと見るとは大違いであった。ミクロものづくりの思いがあり、熟練工を主にしたキサゲの手作業による事業を想定していました。その上に、慣れないキサゲとケサゲの言葉を間違えるし、迷惑をかけてしまいました。キサゲは50cm程度の器具を使って、鉄の表面を鉄の表面を平らにするものです。キサゲは平らな鉄の表面に油溜りを作ると知っていましたので、高摺動部に使う部品化と尋ねると、取付け精度を上げるために、主に固着する部分に使い、ターンテーブルにも使うが高摺動部ではないと言われてしまいました。ちなみにケサゲは、板金に線を引く作業のことと説明されてしまいました。

まず案内されたのは、テーブル(工作物を置く台)上面をケサゲする部屋でした。リーマン・ショック以後、企業の投資の落ち込みにより、ここでは作業はしていませんでした。工作物の取付け精度を上げるために、テーブルの上面をケサゲ作業で平らにしていました。面粗度と平面精度の違いを十分に理解していなかった。研磨で表面をつるつるにするのが面粗度です。ただし、面粗度が良くても(表面がツルツル)、必ずしも平面精度が高くないそうです。機械加工して平面にした上に、ケサゲ作業でミクロン(0.001mm)単位で仕上げる。この平面のキサゲ作業をするのに、3～5年の経験が必要になるそうです。傾向付けしたケサゲ作業ができるようになるには、10年以上の経験が必要だそうです。

傾向付けしたケサゲ作業とは、ガイドウェイの中心では、スピンドルの重さで力が掛り、ゆがみ(もしくは弛み)が出てしまう。それを防止するために少し丸みを持たせてあります。その丸みにケサゲ作業を行なっていきます。その時、ケサゲ作業で丸みを付けていくのではなく、あくまでも機械加工で丸みを付けて、ケサゲ作業で仕上げていっていました。

安田工業(株)は、あくまでも高精度の工作機械を作るメーカーであり、ケサゲ作業はその手段のひとつにしか過ぎない。ケサゲ作業を行なう熟練工の人たちは、大部分が外注である。

その一方で、ケサゲ作業のできる大きさのテーブルの工作機械しか生産していない。そのため、高精度の工作機械を作るためには、安田工業(株)の工作機械も使用するが、ベッドの大きさが限られ、世界から高精度の工作機械を集め、使っている。恒温工場で温度管理し、工場は振動を抑える構造にしています。また、スピンドルを高回転で回すために、組立室を別に作っています。機械そのものもクーラントの温度調整し、温度変化によっても精度が変わらないような工作機械を作っています。ケサゲ作業は、加工精度を出すための手段です。

すり合わせ技術は、日本が得意にしてきた技術と言われていました。でも何を指しているのか、あいまいな面がありました。設計における“すり合わせ”技術と確信しました。安田工業(株)のケサゲ技術で作る部品は、標準部品で、追加注文でも同じ部品を作ることができます。すり合わせて開発した部品を一緒に使えば、ユニット化は成り立ちます。安田工業の場合は、高精度の加工を実現させるために、“すり合わせ”技術を使ってお客様に製品を提供しています。

中国という低価格で生産する国が出現してしまった現代において、日本の製造業は“すり合わせ技術”と“ユニット化”を組み合わせた製品づくりが重要になってくるでしょう。

無料経営相談実施

○第4回しんきん合同ビジネス交流会に参加し、無料経営相談をしました。

約400社の企業に参加する、ビジネスチャンスの交流の場として開催。

日時：平成21年9月12日(水) 13:00～17:00

場所：コンベックス岡山 大展示場・小展示場

参加者：理事 氏家 宏 氏 理事 松田眞司 氏

○金融・経営相談会として、岡山商工会議所や保証協会などが相談窓口を設置し、個別の相談に、当支部は、支援機関として、相談窓口を設けて、来訪者の無料経営相談に参加しました。

日時：平成21年12月9日(水)

場所：岡山商工会議所 (岡山市厚生町3-1-15)

参加者：理事 氏家 宏 氏 会員 入矢和政 氏

平成21年度中国ブロック事務連絡会議

日時：平成21年10月15日(木) 13:00～17:00

場所：皆生「つるや」(米子市皆生温泉2-5-1)

参加者：本部 会長 新井信裕 氏、専務理事 水元明則 氏、

会員事業部部長 小沢一英 氏

各支部 支部長ほか10名。岡山県支部より額田支部長、山田専務理事が参加しました。

内容：本部より社団法人化に関する定款変更、支部規定の見直し、会計制度変更の説明、各支部から活動状況について報告がありました。

平成21年度海外視察報告 「韓国・ソウル」

担当理事 児玉健治

毎年恒例の海外視察は、昨年度はリーマンショック、行き先候補の不安定な治安等の理由から残念ながら見送りになっておりましたが、今年は11月1日(日)～3日の3日間の日程で無事、実施してまいりました。参加者は6名と、やや少なかったのですが、その分、フットワーク軽く臨機応変に視察先を設定してどんどんまわってまいりました。

視察先の韓国・ソウルには2年前にも行っているのですが、その時とは劇的に経済環境が変化してします。2年前はウォン高、円安で、韓国を岡山県の中小企業の製品の魅力的

な市場としてとらえていましたが、今は全くの逆、ウォン安、円高の状態が定着し、資材の調達先候補としての韓国という図式となっています。

今回の視察では、その為替の影響が実際にどうなっているのか、そしてリーマンショックからいち早く立ち直った韓国経済の実情がどうなっているのかも体感したいと考えていました。そして、そのために徹底的に韓国・ソウル市民の日常生活にひたってみることを目的とし、視察先もデパートではなく、市民が日常的に利用するスーパーや市場を見て、聞かせていただく話も、公的機関の公式な説明でなく現地で実際に働いている方の本音の生の声を求めてきました。食事も、あえて日本語が通じないような店に勇気をもって入り、現地の方と一緒に焼酎をくみかわしました。

今は、ウォン安・円高のため、韓国を市場としてとらえて積極的に売り込んでいこうという気運は薄れていますが、長い目でみれば、韓国は市場として魅力的なことは間違いありません。スーパーでは、何の違和感もなく、商品を見て、買い物することができました。さほど、工夫を要することなく、よいものを適切な価格で販売すれば、岡山の中小企業にとっても大きなチャンスになると確信しました。岡山からソウルへの所要時間は、岡山・東京とさほど変わりません。近くて近い海外市場、それがソウルです。

視察先として訪問させていただいたベネッセコリアの孫社長には、懇親会にも足を運んでいただきました。話はおおいに盛り上がり、こういう交流の場を「定例会にしましょう」というご提案もいただきました。またぜひ行きたい、魅力的な国、韓国でした。



平成21年度支部研修実施

常任理事 黒江 正行・理事 黒田 俊彦

日時：1日目 11月 1日（日） 9時30分～16時30分
2日目 11月21日（土） 9時30分～15時00分

会場：ゆうあいセンター 2階研修室

内容：本部補助を2日目に活用し、プロ診断士の民間分野進出支援研修を開催しました。私共の周りにはその道に精通した先輩方がおられ、長年積み重ねてきた経験と知恵の伝授で、民間分野進出を希望する後輩の背中を後押ししていただきました。講師の専門分野の紹介、成功・失敗談を織り交ぜた体験談で研修会が進み、受講者がすぐに実行できる話、将来いつかの時点で役立つ話もありました。先生方には、これを機会に受講者からの質問に気軽に応じていただけるようお願いしました。

講師とプログラム

多田 土喜夫 氏	自助努力で開拓する顧問先 10 社
氏家 宏 氏	農業コンサルタントを学ぶ
戸田 雅良 氏	岡山県の地場産業を知る
若原 一夫 氏	岡山県の商店街・商業集積を知る
守屋 辰興 氏	診断士が知っておきたい省エネ知識
山田 哲男 氏	小規模零細企業を開拓
額田 信一 氏	売上高 1000 万超を目指す



フォーラム活動

このフォーラムは、会員の皆様方にプロコンサルタント、企業内コンサルタントの研鑽の場、そして、人脈づくりの場として利用していただくためのものです。多くの方の参加をお待ちしております。(開催日時は第2日曜日の9時30分～12時)

第4回フォーラム

開催日 8月9日
 テーマ「産業興しを通じて地域興しを
 ～地域に産業を興すことが地域を
 元気にする一つの方法だ」
 講師 株式会社オーティス
 代表取締役社長 佐山 修一 氏

第5回フォーラム

開催日 10月11日
 テーマ「低炭素社会とバイオマス利用」
 講師 経済産業局・資源エネルギー環境部エ
 ネルギー社会システム担当/次世代コン
 ビナート担当参事官 増本 勲 氏

第6回フォーラム

開催日 11月8日
 テーマ「中小企業こそワーク・ライフ・バ
 ランス！～中小企業がWLBを効
 果的に導入する考え方と具体的手
 法～」
 講師
 中小企業診断士
 (株)ゆいアソシエイツ 代表
 女性コンサルタントネットエルズ 代表
 油井文江 氏
 中小企業診断士
 女性コンサルタントネットエルズ
 メンバー 川原舞子 氏
 中小企業診断士
 (株)秀電社・代表取締役 高橋紀美子 氏

第7回フォーラム

開催日 12月13日
 テーマ「岡山からJリーグを！子供たちに
 夢を！」
 講師 ファジアーノ岡山
 代表取締役 木村正明 氏

<<今後の予定>>

第8回フォーラム

開催日 1月17日(新年会として)
 パネルディスカッション
 「中小企業支援機関における役割と課題」
 講師：岡山県産業振興財団 島津 理事長
 パネラー
 岡山県信用金庫連合会 桑田 理事長
 中小企業診断協会岡山県支部
 額田 支部長

第9回フォーラム

開催日 2月14日
 テーマ 「未定」 講師 「未定」

第10回フォーラム

開催日 3月14日
 テーマ 「未定」 講師 「未定」

発表テーマがある方はぜひ、支部の方へ連絡して下さい。

支部研究会活動報告

☆コミュニティビジネス研究会

理事 黒田 俊彦

7月18日土曜日 ゆうあいセンターにて 今後の活動について協議
 12月6日日曜日 CB/SBセミナーに参加 ソーシャルビジネスに関する情報収集を行う
 岡山県内でも多数のコミュニティビジネスが活動をおこなっており、その活動が継続し、さらに貢献していくためには、ビジネス的な手法の必要性が認識されているところで、今後は、環境変化に対応しながら、ソーシャルビジネスを「志援」する活動ができたらと思っております

☆地域活性化研究会

会員 松本 直也

当研究会では、地域を活性化するための人材づくりを中心に研究を行っています。21年後半は、研究会メンバー多忙のため休止となっておりますが、年明けには再開し地域活性化のための活動を行いたいと考えております。

☆循環ビジネス研究会

常任理事 黒江 正行

7月27日(月)、徳島市の岸化学グループを視察してきました。日本でも有数の化製企業でミートボーン粉砕、油脂精製、フェザーミール工場、フィッシュミール工場、それに医療用廃棄物の処理工程を見学させていただきました。製造ラインの大きさや高い循環性、それに環境への配慮など、目から鱗が落ちたのは私だけではありませんでした。

岸代表取締役様、岸常務取締役様からは事業概要とこれまでの先見性による投資などを説明していただきました。

倉敷市産廃改善事業は、研究会メンバーの皆さんと協力しながら取り組んでいます。



岸化学グループ本社前

☆ワークライフバランス研究会

会員 竹原 正孝

当研究会は、21年10月に支部の承認を受け、会員7名で設立いたしました。

発足の趣旨は、男性中心、長時間労働等「仕事優先の働かせ方」を見直し、男女とも健康で個性と能力を發揮できる、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)が実現できる職場環境造りを、導入課題・分析からフォローまでの、支援プロセスを確立し、人材の確保と生産性の向上を目指します。

活動実績は

- 11月 協会フォーラム開催 講師:油井文江氏他
- 初回会合 研究会の進め方、県子育て支援事業について
- 岡山県庁へ「ワークライフバランス支援企画書」を提出

◎ワークライフバランスに熱意をお持ちの方々の参加を歓迎いたします。





事務局だより

1. 岡山県支部新年会のご案内

◇フォーラム◇

日 時：2010年1月17日（日）

15時～17時

場 所：ピュアリティまきび

岡山市北区下石井 2-6-41

TEL086-232-0511

パネルディスカッション

「中小企業支援機関における役割と課題」

講師：岡山県産業振興財団 島津 理事長

パネラー

岡山県信用金庫連合会 桑田 理事長

中小企業診断協会岡山県支部

額田 支部長

内 容

新春にあたり第一回目の診断士フォーラムは産業振興財団・島津理事長、岡山県信用金庫連合会・桑田理事長をお招きし、額田支部長を交えてのパネルディスカッションを予定しています。

フォーラムの後には新年会兼懇親会を予定しております。ぜひ第2部まで参加して各機関のトップと意見交換しましょう。

◇新年会◇

日 時：2010年1月17日（日）

17時～19時

場 所：ピュアリティまきび

岡山市北区下石井 2-6-41

TEL086-232-0511

会 費：3,000円／人（消費税込み）

2. 平成21年度理論政策更新研修（座学）案内

日 時：平成22年10月30日（土）

13時～17時

場 所：岡山コンベンションセンター

ママカリフォーラム

レセプションホール

岡山市北区駅元町 14-1

TEL086-214-1000

3. 更新登録申請について

中小企業診断士有効期間が平成22年2月28日までの方及び平成22年3月31日までの方は、申請手続きが必要です。

◆申請手続きの期間

平成22年2月28日までの方

平成22年2月1日までに申請手続きをしてください。

平成22年3月31日までの方

平成22年2月10日までに申請手続きをしてください。

◆申請書類について

1. 中小企業診断士登録申請書

2. 中小企業診断士登録証

3. 証明書

理論政策研修の証明書 5回分

実務の従事要件 24点分

ただし、平成18年3月31日までに、9点取得済みの方は9点分で結構です。

※理論政策研修の証明書5回分がそろっていない方は、お早めに事務局までご連絡ください。

再発行の手続きをいたします。

◆申請書送付先

山田専務理事の事務所

〒701-0165

岡山市北区大内田 675 テレポート岡山 4F
クリエイティブ コンサルタントグループ 内

岡山県支部会報 第25号
平成21年12月15日 発行
社団法人中小企業診断協会岡山県支部
〒700-0907 岡山北区下石井 2-1-10 KEビル7F
Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554
発行人 支部長 額田 信一
編集人 専務理事 山田 哲男



2010年もよろしく
お願い申し上げます。